



レリーフ部ディテール

ホテル ザ セレスティン東京芝

各所に散りばめられた江戸と薩摩の記憶。「光と緑を湛える、歴史を称える、粋な佇まい」のホテル。

薩摩藩江戸上屋敷跡地という場所にちなみ、薩摩焼の意匠を踏襲した三角形のデザインタイルを製作。天井高7mの大壁面は三角形の和紙、漆、やきものなどを組み合わせ、素材を対比させて配置したレリーフで構成されている。レリーフ壁面“KIRIKO WALL”の中で、やきもの素材として選択したカラーは艶感のある黒色で厚い釉薬を施したもの。連続性のある立体感を表現したデザインは訪れた宿泊者に対して、ホテルの場所の特性や日本ならではの素材と意匠により日本の独自性を知っていただくことができる。

DATA

主：三井不動産株式会社
 計：株式会社日建スペースデザイン
 工：三井デザインテック株式会社
 所在地：東京都港区芝3-23-1
 工：2017年11月

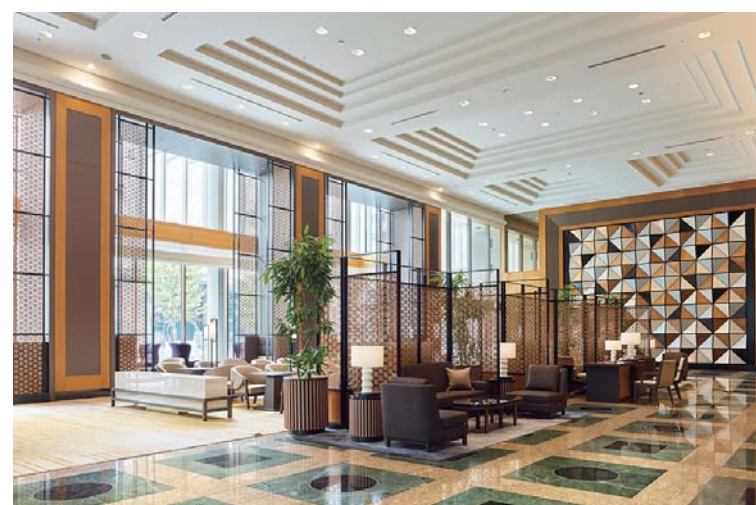
商品情報

内装壁タイル：黒薩摩焼三角形陶板



外観全景

内観

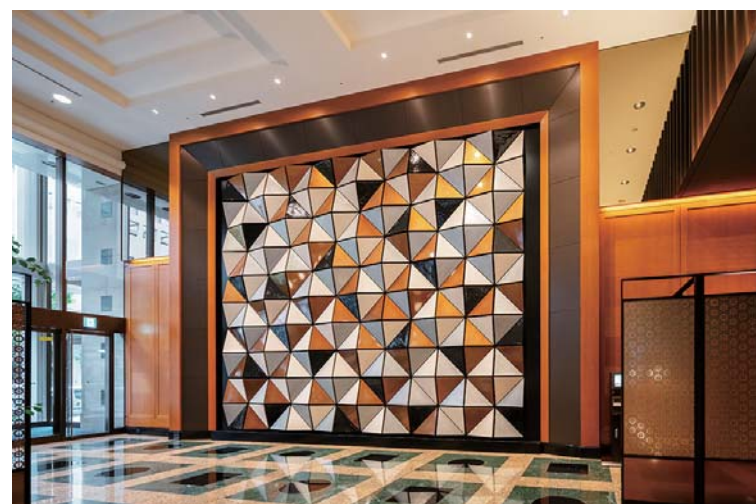


エントランスロビーおよびカフェ&バーラウンジ全景



レリーフ壁面全景

内観



レセプションカウンターから見るレリーフ壁面



日比谷通り側エントランスから見るレリーフ壁面



レリーフ見上げ

ディテール



レリーフディテール



黒い部分がタイル(他素材との取り合い)